

宮城県感染症発生動向調査情報

令和元年5月16日発行

2019.5.6～2019.5.12 ー第19週ー

1. 集計

上段は患者発生数, 下段は定点当たり

疾病	保健所							仙台市	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第15週	第16週	第17週	第18週
水痘	2 0.50	15 1.50	3 0.60			3 0.60	1 0.50	17 0.63	41 0.71	594	レ	○	レ	○
流行性耳下腺炎								5 0.19	5 0.09	63				
感染性胃腸炎	29 7.25	65 6.50	13 2.60	8 4.00	10 3.33	44 8.80		232 8.59	401 6.91	6,050	◎	◎	◎	◎
手足口病	1 0.25	1 0.10	2 0.40			1 0.20		3 0.11	8 0.14	94				
伝染性紅斑	2 0.50	1 0.10	7 1.40		1 0.33	19 3.80	3 1.50	14 0.52	47 0.81	2,154	◎	◎	レ	○
突発性発しん	3 0.75	7 0.70	2 0.40	2 1.00	2 0.67	2 0.40		12 0.44	30 0.52	465	○	○	レ	○
ヘルパンギーナ			1 0.20			1 0.20			2 0.03	9				
インフルエンザ	22 3.14	7 0.47	9 1.13	2 0.67	6 1.20	11 1.38	1 0.25	31 0.70	89 0.95	30,118	◎	◎	◎	○
咽頭結膜熱	2 0.50	2 0.20		3 1.50				4 0.15	11 0.19	250				
流行性角結膜炎						1 1.00			1 0.08	43				
急性出血性結膜炎									0 0.00	4				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35 8.75	28 2.80	15 3.00	1 0.50	1 0.33	44 8.80		62 2.30	186 3.21	3,633	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	1				
無菌性髄膜炎									0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎				2 2.00		1 1.00			3 0.25	75				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	3 0.75	1 0.10	1 0.20			2 0.40		13 0.48	20 0.34	499	○	◎	レ	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)								4 0.80	4 0.33	21				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1	1										
	川崎病													
	不明発しん症							6						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 3例

2. 全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核(患者(確定例))
大崎管内 女性1名(第16週)
仙台南管内 男性1名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: レジオネラ症
塩釜管内 男性1名
- 5類感染症: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症
塩釜管内 男性1名
仙台南管内 女性1名(第18週)
侵襲性肺炎球菌感染症
仙台南管内 男性1名
水痘(入院例)
仙台南管内 男性1名(第18週)、女性1名(第18週)
梅毒
仙台南管内 男性1名
百日咳
塩釜管内 女児1名*(第17週)
仙台南管内 女性1名
麻しん
塩釜管内 男性1名

※女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

- [水痘]
塩釜管内で注意報レベルを超えました。
- [伝染性紅斑]
気仙沼管内で警報レベルを継続中です。
石巻管内で警報レベルを超えました。
- [溶血性レンサ球菌咽頭炎]
仙台南管内で警報レベルを超えました。
石巻管内で警報レベルを超えました。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

麻しん患者より
塩釜管内 第19週採取分 麻しんウイルス 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第16週採取分 (4.15～4.21)	第17週採取分 (4.22～4.28)	第18週採取分 (4.29～5.5)
RSウイルス	1件	0件	0件
ヒトメタニューモウイルス	4件	0件	0件

4. 今週のコメント

【感染性胃腸炎】

県では、定点当たりの患者報告数が第18週及び第19週においてすべての保健所管内で警報継続基準値を下回ったことから、平成31年4月25日から発令していた感染性胃腸炎警報を、令和元年5月16日に解除しました。警報は解除されましたが、引き続き予防対策に努めてください。

【麻しん】

今週、塩釜管内の医療機関より麻しん患者の報告がありました。麻しんウイルスに感染すると、10～12日間の潜伏期間を経て発症します。典型的な症例では、初期に38℃台の発熱と倦怠感、咳や鼻水など風邪を疑わせる症状が2～4日続きます。その後に体温は僅か(1℃程度)に下がりますが、体の発疹と前後して再び39℃台の高熱となる2峰性発熱の様相を呈します。麻しんは感染力が強いため、麻しんを疑う症状がみられた際には必ず医療機関に事前に連絡し、医療機関の指示に従って早めに受診することを心がけてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kanssen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

